

元プロバスケット選手の塩屋さん 麦川小児童らに体感授業



塩屋清文さんとのミニゲームで懸命にボールを追いかける子どもたち

岩国市出身の元プロ選手、塩屋清文さん(40)を講師に招いたバスケットボール教室が12日、美祢市大嶺町奥分の麦川小学校(山本雅孝校長、43人)で開かれた。3〜6年生約30人がドリブル練習やミニゲームを通してスポーツの楽しさを感じた。

文科省と日本体育協会による「スポーツ選手活用体

力向上事業」の一環。子どもたちは4グループに分かれ、2人で手をつないだままドリブルをする速さを競うなど、楽しみながらコツを学んだ。

最後にミニゲームがあり、学年ごとに塩屋さんと対戦。子どもたちは、狙い定めたシュートを塩屋さんに簡単にはたかれたり、大きな体で行く手を阻まれたりと悪戦苦闘。次第に声を掛け合ってパスを回すなど工夫し、6年生はチームワークの良さを発揮して2点差で勝ち、大喜びだった。

塩屋さんは子どもたちに「夢を持って、毎日こつこつと練習を続けることが大切」と呼び掛けた。6年の横田翠さん(11)は「難しかったけど、試合に勝ってシュートもできたのでうれしかった。塩屋さんは遠くからシュートを打っていてすごいと思った」と話した。